

大川村山村留学生の自然観察

高知県大川村は島を除き、全国で最も人口の少ない村です。この村には、全国から小中学生が留学する制度があります。留学生たちは村内で共同生活をしながら、学校に通っています。

今年度、大川村教育委員会より依頼を受け、留学生たちが大川村の自然をより理解するための活動を支援しています。

6月は自然を記録する手段の一つとして、センサーカメラの設置とタイマー式の録音装置を設置しました。毎月の活動の中で、身の回りの生き物を知ることや、生活とのかかわりを伝えることができればと思っています。



鳥獣害対策とシカの捕獲事業



今年度も西条市より鳥獣害対策とニホンジカの捕獲事業を受託しました。

西条市域の山林と隣接する地域では、イノシシ、サル、シカがほぼ全域で見られるようになっています。

この事業では、市役所に寄せられた鳥獣害に関する相談に対し、現地での痕跡調査などを行いながら対策を提案していきます。

市域に生息する各種の総個体数を求めることは不可能に近いなかで、捕獲という方法だけでなく、いかに農作物の被害を減らすことができるかを提案していきたいと考えています。



saijo.nature



@saijonature

日々の様子はこちらから

Instagram

希少な海浜植物の勉強会を開催します。

愛南町の海岸では様々な希少な生物が確認されており、南海トラフ地震による津波で生息場所が失われる可能性が指摘されています。

今回は、御荘湾に生育するハマボウを中心に塩生植物について学びます。



ハマボウ

愛媛県絶滅危惧Ⅱ類

アオイ科落葉低木。内湾海岸に生育する。
7～8月に直径7cmほどの黄色い花を咲かせる。
種子は海水に漬かっても死なず、海を通して分布を広げることができる。
園芸賞の採取や、道路の拡張工事や河川改修、水質汚濁などによる群落の減少が懸念される。

7月20日（木）13：30～15：00

集合場所：愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城728
南レク御荘公園駐車場
(集合後、移動します)

申し込み：西条自然学校
info@saijo-shizen.org

夜学のご案内

毎月、第三水曜日の19時～20時に西条市図書館2階会議室で開催しています。生き物や自然に関するお話を聞く会です。どなたでも、申し込みなしで参加いただけます。

開催後、動画の配信も行っていますので、当日参加出来なかった方はHPから動画をご覧ください。

第222回 7月19日（水）

「淡水巻貝のお話」

講師：野口大介（西条自然学校）



第223回 8月16日（水）

「サンジャクのお話」

講師：山本貴仁（西条自然学校）



放置人工林伐採作業

昨年からの伐採を行っていた、大保木地区の畑跡の現場が完了しました。既に、主に草本ですが様々な植物が育ち始めています。

伐採後は、様子を見ながら自然に生える木々によって、自然の森の復元を目指します。

次の現場での作業も始まっており、暑い季節ですが、事故に気を付けながら作業を行っていきます。



西条自然学校では、自然環境の保全活動を継続させ、雇用を生み出すために、様々な製品の製造、販売を行っています。いとまちマルシェや西条市観光物産協会にてお求めください。

